後ろ向きのプログラム実行

サポートされている環境であれば、プログラムの実行を元に戻すことができます。

reverse-continue [ignore-count]

rc [ignore-count]

逆順に continute します。

reverse-step [count]

逆順に step します。

reverse-stepi [count]

逆順に stepi します。

reverse-next [count]

逆順に next します。

reverse-nexti

逆順に nexti します。

reverse-finish

現在の関数の呼び出しポイントまで戻ります。

set exec-direction 'reverse|forward'

ターゲットの実行向きを指定します。